

ケータイ不快・恐怖体験（いやな思い）調査

～第1次調査～

平成22年1月15日～平成22年1月27日

調査結果報告書

目次

1.	本調査の特徴と調査結果の概要・政策提言	P 2
2.	調査について	P 4
3.	データ結果と考察	P 5
	Ⅰ. 全体集計結果	
	i. 携帯電話の所持、利用状況について	
	ii. フィルタリングサービス、メール受信拒否設定について	
	iii. 携帯電話の利用による不快体験について	
	Ⅱ. パトロール隊の活動に対しての意見等	
4.	資料 男女別データ分析	P14
5.	資料 ケータイトラブルについての他機関の調査結果	P18
	① 文科省「子どもの携帯電話利用に関する調査」平成21年2月	
	② 内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」平成22年4月	

弘前大学教育学部「ネット・ケータイ問題」研究プロジェクト
同 上 ネットパトロール隊調査部

1. 本調査の特徴と調査結果の概要・政策提言

①本調査の特徴

ネット・ケータイ問題に関わる最近の総合的調査は、文部科学省「子どもの携帯電話利用に関する調査」平成21年2月（以下「文科省調査2009年」）と、内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」平成22年4月（以下「内閣府調査2010年」）等がある。本調査は、これらを踏まえ生徒の被害（不快恐怖）体験に焦点をあて詳細に調べたことと、Web端末の機能・コンテンツごとに調べたことに特徴がある。

②調査結果の概要

(1) ケータイへの生徒の関わりは多様であり、調査対象率で「携帯電話を持っていない」が6%、メール依存症かその予備群（1日50件以上の発信）が1割、ウェブ依存症ともいえる状況（1日3時間以上利用）が2割（全国平均より11%高い）であった。

(2) ケータイのコミュニケーション機能・コンテンツの利用度は、メール(90.0%)、SNS(74.9%)、ホームページ(66.9%)、ブログ(48.9%)、プロフ(39.1%)、掲示板(30.1%)の順であった。

(3) メールでの不快恐怖は、ケータイ所持者の64.8%が体験していた。一つは「出会い系等有害情報から一方的に送りつけられるメール」(39.9%)、「身に覚えのない相手からのメール」(23.4%)等、詐欺(占いサイト等)で不正に個人情報を取得され、その後執拗に誘いをかけてくるケースである。二つは「友人からの脅迫的な内容のメール」(1.4%)、「自分の名を語ったメール」(3.8%)、「自分や友人の誹謗中傷のチェーンメール」(自分-1.1%)(友人-2.3%)で、件数は少ないが明らかに個人に対する誹謗中傷とネットいじめである。また「見知らぬ相手からのメール」(21.0%)の中には「なりすましメール」が多数含まれているものと思われる、メールによる個人に対する誹謗中傷とネットいじめは一定の割合で存在している。

(4) SNS利用者の各サイトの利用率は、モバゲータウン(92.9%)、GREE(59.7%)、mixi(20.0%)の順で県内の高校生の利用はモバゲータウンが圧倒的である。これはゲーム機能の利用から入り、その後他の機能も利用しサイト内でのコミュニティーを広めていると推測される。不快恐怖体験は「見知らぬ人からのメッセージやコメント欄での書き込み」(メッセージ-7.1%)(コメント-5.3%)での誘引、「自分や友達の誹謗中傷」(自分-4.8%)(友人-3.5%)等のネットいじめにつながる書き込みがメールより多くみられる。また、特に注視することは「人と会い身の危険を感じた」(3.2%)という生徒が存在していることである。この数値を青森県の高校生総数に換算すると1300人に相当する。2007年度に某SNSで知り合い「八戸市女子高校生殺人」までなった事件を想起する必要がある。

(5) 掲示板(学校裏サイト、2チャンネル等)の利用率は予想していたより低く、高校生の掲示板の利用は青森県も都市並に他機能・コンテンツに移りつつあることが判明した。しかし、不快恐怖体験の発生率は高く、「自分・友達・学校への誹謗中傷」は、ケータイ所持者で、自分へ9.1%、友達へ10.0%、学校へ4.7%となり、これを掲示板利用者内での発生率にすると、自分へ30.2%、友達へ33.2%、学校へ15.6%である。また、「自分になりすまして書き込みをされた」はケータイ所持者で3.3%、掲示板利用者では11.0%ともなり、掲示板がストレス発散の場やネットいじめの温床になっているともいえる状況である。また、掲示板の管理者は掲示板利用者の13.6%の生徒が担っている。さらに、掲示板に貼られたリンク先に飛んで架空請求された詐欺も他の機能・コンテンツより高く、ケータイ所持者(15.1%)で、掲示

板利用者内では 50.1%も誘引されていた。また、有害情報へのリンクはケータイ所持者で 3.0%、掲示板利用者内では 10.1%となり、悪徳業者が掲示板利用者をターゲットにしていると思われる。

(6) プロフやブログでの不快恐怖体験は、他の機能・コンテンツより低く、ケータイ所持者の 1～5%内である。ホームページを含めこれらの利用者は、観覧するのみでなく発信することも望んでおり（社会的承認欲求）、各コンテンツの作成は、利用者内率でプロフ(67.2%)、ホームページ(56.9%)、ブログ(47.2%)で、半数以上が個人情報を発信していた。

(7) 主な不快恐怖体験を機能・コンテンツ別に整理すると次のようになる。率はケータイ所持者を分母とする。

①個人への誹謗中傷やネットいじめは、掲示板で最も多く「自分・友達・学校への誹謗中傷」の発生率は、自分へ 9.1%、友達へ 10.0%、学校へ 4.7%と高率である。次に SNS では「自分や友達の誹謗中傷」が、自分へ 4.8%、友だちへ 3.5%、メールで「友人からの脅迫的な内容のメール」が 1.4%、「自分の名を語ったメール」が 3.8%、「自分や友人の誹謗中傷のチェーンメール」が、それぞれ 1.1%、2.3%、プロフで「自分のコメント欄に誹謗中傷」が 1.7%、ブログで「自分のコメント欄に誹謗中傷」2.1%である。これらからケータイによる誹謗中傷の被害は、1割以上の生徒が受けており、県内高校生総数に換算すると約 4千人となる。今回の調査では明らかにできなかったが、これらの中で何割かの生徒がネットいじめにあっていると推測される（文科省調査 2009 年「インターネットの掲示板やメールで悪口を書かれた」9.3%、内閣府調査 2010 年「悪口やいやがらせのメールを送られたり書き込みをされた」4.7%）。

②出会い系・有害情報系への誘引は、不正な方法で取得されたメールアドレスに「出会い系有害情報から一方的に送りつけられる」(39.9%)、「身に覚えのないサイトからのメール」(23.4%)が最も多く、次に SNS で「見知らぬ人からのメッセージ、コメント欄での書き込み」(メッセージ 7.1%)(コメント 5.3%)での誘引、ブログでの「有害情報へのリンク」(1.1%)である。また、特に注視することは「人と会い身の危険を感じた」が、SNS(3.2%)、掲示板(0.9%)、ブログ(0.5%)、プロフ(0.9%)と存在していた。「出会い系サイト」の規制により、SNS でのコミュニケーション機能を利用した巧みな誘引である「隠れ出会い系」が今後増加することが予想される。なぜなら、主な SNS は生徒がブラックリスト方式のフィルタリングを設定してあっても、「一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用機構(EMA)」の審査を経て認定されているため SNS 内でのコミュニケーション機能が使用できるからである（「文科省調査 2009 年」「ネットで知り合った人と会った。また会いそうになった」7.7%、内閣府調査 2010 年「サイトで知り合った人と会った」3.3%）。

③架空請求等の詐欺行為は、掲示板が最も高く 15.1%で、掲示板利用者に限れば 50.1%が受けている。SNS が 0.8%、ブログが 1.5%、プロフが 1.1%と件数は少ないが発生しており、今後これらのコンテンツでの増加が予想される（文科省調査 2009 年「心当たりのない利用料金の請求」14.4%、内閣府調査 2010 年「サイトにアクセスしてお金を請求された」3.9%）。

(8) ケータイ被害から自らを守る防御の行為は、メール受信拒否設定を利用している生徒が 36.7%、フィルタリングの設定が 19.8%であった。メール受信拒否設定は、メール被害を自ら経験・学習し、または友達から教わり設定したものと思われ、被害経験が免疫として働いていると思われる。フィルタリングの設定率は低く、青少年インターネット環境整備法（平成 21 年 4 月施行）の認識率は 49.7%であり、また、同法施行後の高校一年生対象調査では、利用率が 42.0%であることを鑑みれば、法律の意義が生徒と保護者に理解されていないと思われる。

(9) 各項目での男女の違いは明確で、メールの利用時間も、各コンテンツの加入状況、作成経験とも女子が男子を2割以上上回っていた。したがって、不快恐怖も女子がより多く体験していた。

③政策提言

(1) 多くの生徒は、各種の「情報」や不快恐怖体験を通して「学習」し、ケータイ被害への「免疫」を付けてきていると思われるが、一定数の生徒の不快恐怖体験の実態は深刻である。データからみると実際に身の危険を感じる等の被害に遭遇した生徒もいる。また、メール依存症とその予備群、ウェブ依存症と思われる生徒も一定数存在していた。したがって、ケータイ所持前、所持後のケータイリスク教育や情報モラル教育、生き方の指導が必要である。

(2) ネットいじめを内包した個人への誹謗中傷の実態は深刻であり、いじめ指導、人権教育と連携させた、指導の強化と詳細な実態の把握が緊切である。

(3) 社会状況を反映し犯罪者集団からの子どもをターゲットとした架空請求詐欺、出会い系有害情報等への誘引は、ケータイの機能・コンテンツを換えつつ増加するものと思われ、事例を通したリスクの啓発と被害にあった場合の対応の仕方について教育しておく必要がある。

(4) 掲示板は、県内高校生の利用率が低下し都市並みになったが、依然問題がもっとも発生しているコンテンツであり、子どもたちの不快恐怖体験を防ぐためにも社会的機関による「ネットパトロール・見守り」活動が必要である。

(5) 自らを防御する、フィルタリングやメール受信拒否設定率が低いため、その役割と生徒の要望に対応した各種方法を生徒ともに保護者にも啓発する必要がある。

(6) 少なくない高校生はケータイでの不快恐怖を体験しつつ「ケータイ被害免疫」をつけていると思われ、また、社会的判断力の育ってきている高校生も多数いることから、高校生自身の取り組みを促し、このパワーで中学生にも働きかけていくという方略が求められる。例えば、高校内に「生徒によるネット見守り隊や相談コーナー」を設け、この組織と弘大ネットパトロール隊が連携して、高校内での啓発活動や、校区の中学校や小学校への出前授業や交流事業を行うなどが考えられる。

2. 調査について

①期 間：平成 22 年 1 月 15 日～平成 22 年 1 月 27 日

②対 象：青森県内の公立高校 4 校の二年生 703 名

③目 的：年々携帯電話やインターネットによる被害・トラブルが増加している。

そこで、青森県における携帯電話を所持する生徒のケータイ・ネット利用における不快恐怖（嫌な思い）体験の実態を明らかにするため、多数の生徒の携帯電話の所持使用期間が1年以上経つ高校2年生を対象にアンケート調査を行った。また、文科省調査（平成21年2月）が高校2年生を対象としているため、比較検討することも考慮した。

④調査内容：調査は、携帯電話の所持・利用状況について、フィルタリングサービス・メール受信拒否設定について、携帯電話の利用による不快体験についての3項目である。

⑤配布数と回収率：右表参照

	回収人数	調査予定人数	回収率
A高	225	240	93.8%
B高	125	138	90.6%
C高	99	106	93.4%
D高	254	268	94.8%
計	703	752	93.5%

3. データ結果と考察

*考察は、必要に応じて同一質問項目である、本プロジェクトが平成21年9月に実施した県内高校生1年生対象の「ケータイ被害防御状況に関する調査」(以下「高校1年生調査」と、文部科学省が平成21年2月に発表した「子どもの携帯電話の利用に関する調査」(以下「文科省調査」)の高校2年生データと比較しながら行う。

*割合は、小数点第二位を四捨五入して表しているため合計が100%にならない場合がある。

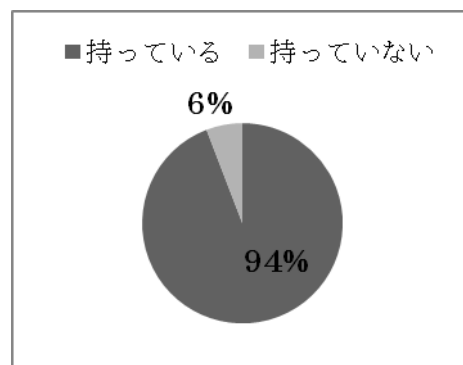
I. 全体集計結果

i. 携帯電話の所持、利用状況について

1. あなたは現在携帯電話を持っていますか。

全体	持っている	持っていない
703	662	41
	94.2%	5.8%

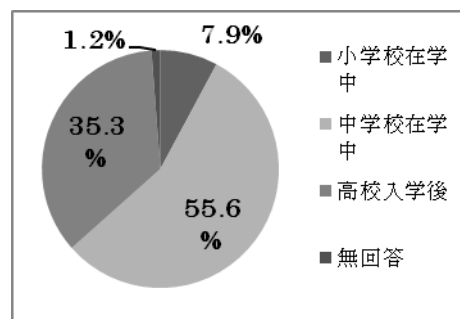
「持っている」が94.2%と、9割以上が携帯電話を所持していることがわかる。「高校1年生調査」でも、95.0%でほぼ同率であった。



1-2. 「持っている」と答えた方に伺います。携帯電話を持ち始めたのはいつ頃からですか。

全体	小学校在学中	中学校在学中	高校入学後	無回答
662	52	368	234	8
	7.9%	55.6%	35.3%	1.2%

「小学校在学中」と「中学校在学中」の割合をあわせると63.5%と6割を超える。「高校1年生調査」では、高校合格から入学までに39%の生徒が購入しており高1の4月にはほぼ9割の生徒が所持していると思われる。

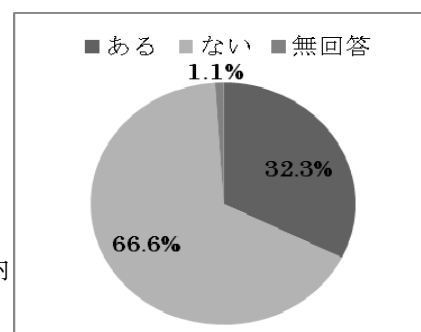


1-3. 「持っている」と答えた方に伺います。

あなたは携帯電話を使用する上で、家庭内での決まりごとはありますか。

全体	ある	ない	無回答
662	214	441	7
	32.3%	66.6%	1.1%

家庭内での決まりごとが「ない」割合が66.6%と、6割を超えている。「文科省調査」では、決まり事が「ある」が44%で、12%ほど県内が少ない。高校入学前後に多くの保護者が携帯電話を買い与える一方、約束事が少ない事態は、保護者のこの問題への認識が浅いと思われ、啓発の必要性が求められる。



1-3-1. 「ある」と答えた方に伺います。

決まりごとの内容としてはどのようなものがありますか。(複数選択可)

学校持込み×	利用料金制限	食事中は×	勉強中は×	使用時間制限	テスト期間は親へ	学校では電源を切る	その他	無回答
1	152	78	17	16	1	24	18	1
0.5%	71.5%	36.4%	7.9%	7.5%	0.5%	11.2%	8.4%	0.5%

※複数選択のため、合計が100%になっていない。(分母を「決まりがある人数」にしている)

—その他— *アンケートに書かれてあった原文そのものを掲載。以下「その他」の項目は同様。

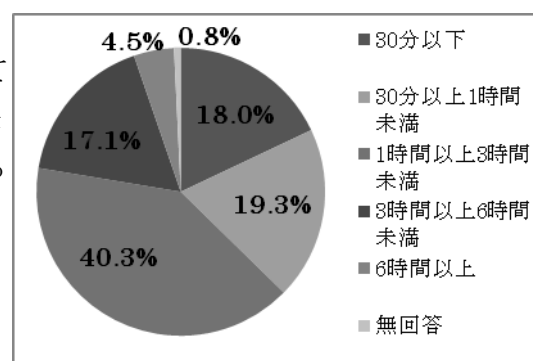
・通信料は自己負担 ・お金のかかるサイトに入らない ・インターネット禁止 ・あんまり高くないように努力する ・電話をし過ぎない ・有料サイトをしない ・パケット使用料の限度 ・料金を自己管理する ・ケータイで買い物をしない ・怪しいサイトにかかわらない ・変なサイトにいかない ・アダルトサイトにつながらない ・自分の部屋に持って行かない ・有力サイトに登録しない ・成績が下がらないようにする ・ネットは一ヶ月おきにやる ・危険なサイトへはいかない ・変なページはクリックしない ・出会い系に接続しない

決まりごとの内容として、多くは「利用料金の制限」、次いで「食事中は使用しない」が高い割合であり、「有害情報系にリンクしない」等に係わる項目が少ないようで、この点でも保護者のこの問題に対する認識の向上のための啓発が求められる。

1-4. 「持っている」と答えた方に伺います。あなたは携帯電話でインターネット(iモード、EZ web など)を一日に何時間利用していますか。

全体	30分以下	30分以上1時間未満	1時間以上3時間未満	3時間以上6時間未満	6時間以上	無回答
662	119	128	267	113	30	5
	18.0%	19.3%	40.3%	17.1%	4.5%	0.8%

1日に1時間以上利用する割合が61.9%と6割を超えている。「文科省調査」と比較すると、「1時間以上3時間未満」が、青森県は全国平均を13%、「3時間以上」も11%と高いという特徴が明らかになった。



1-5. 「持っている」と答えた方に伺います。

以下のインターネットのコンテンツを利用(閲覧・作成など)したことがありますか。(複数選択可)

プロフィールサイト	ホームペ	ブログ	掲示板	SNS(モバゲー、mixi等)	無回答
259	443	324	199	496	49
39.1%	66.9%	48.9%	30.1%	74.9%	7.4%

※複数選択のため、合計が100%になっていない。(分母を「持っている人数」にしている)

「SNS」の割合が74.9%と最も高く、次いで「ホームペ」が66.9%と7割近い。一方掲示板は30.1%と

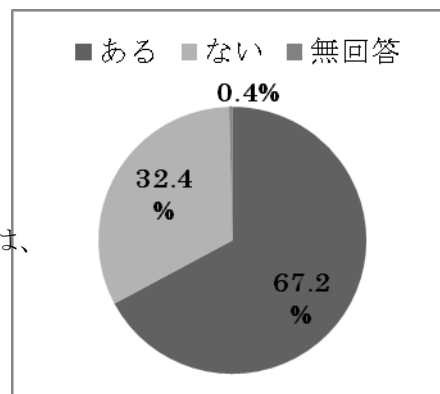
3割ほどであり、ここ2～3年の全国的動向である掲示板から仲間内のみ楽しめるホームページや大人の参加者が多いであろう多機能のSNSへの流動が伺える。

1-5-1. 「プロフィールサイト」と答えた方にお聞きします。

あなたは自分でプロフィールサイトを作成したことがありますか。

全体	ある	ない	無回答
259	174	84	1
	67.2%	32.4%	0.4%

作成したことが「ある」割合が67.2%と高く、プロフの参加者は、自らを発信することを望んでいるといえる。

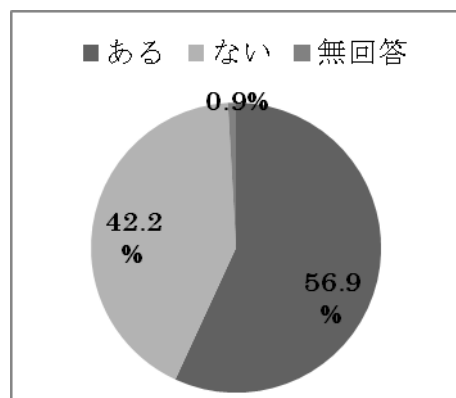


1-5-2. 「ホームページ」と答えた方にお聞きします。

あなたは自分でホームページを作成したことがありますか。

全体	ある	ない	無回答
443	252	187	4
	56.9%	42.2%	0.9%

作成したことが「ある」割合が56.9%と半数以上であった。

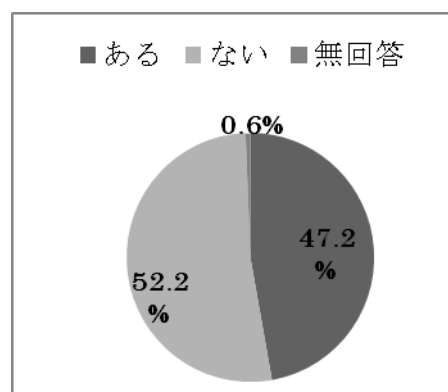


1-5-3. 「ブログ」と答えた方にお聞きします。

あなたは自分でブログを作成したことがありますか。

全体	ある	ない	無回答
324	153	169	2
	47.2%	52.2%	0.6%

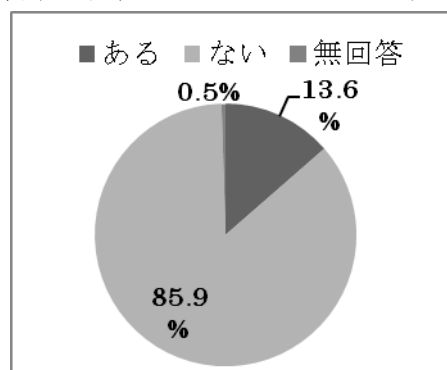
プロフ、ホームページとは若干異なり、半数以上が作成したことが「ない」であった。しかし、これらのコンテンツを利用する半数以上の生徒は、自らの発信の場を求めているため、個人情報の流失等、インターネット利用に関するリスクについての啓発がもとめられる。



1-5-4. 「掲示板」と答えた方にお聞きします。

あなたは自分で掲示板の管理人(掲示板サイトの運営する人)をしたことがありますか。

全体	ある	ない	無回答
199	27	171	1
	13.6%	85.9%	0.5%



管理人をしたことが「ない」割合が85.9%と高いが、1割の生徒が管理人を行っており、問題の多い「学校裏サイト」も彼らによって運営されていることが推測される。

1-5-5. 「SNS」と答えた方に伺います。

あなたが利用したことのあるSNSサイトは次の内どれですか。(複数選択可)

mixi	モバゲー	GREE	en 高校生	大集合 NEO	その他	無回答
99	461	296	5	138	16	4
20.0%	92.9%	59.7%	1.0%	27.8%	3.2%	0.8%

※複数選択のため、合計が100%になっていない。(分母を「SNSを利用した人数」にしている)

—その他—

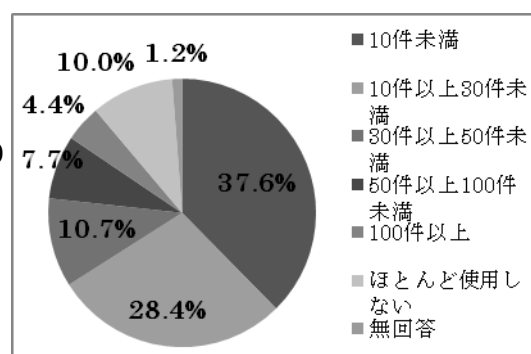
・不良の花道 ・モバレボ ・ログトモ ・ixen ・ぺらめせ ・twitter ・pixiv ・オンラインゲーム ・ポケゲー ・フラモ ・マンカゲット ・何する.jp

「モバゲー」や「GREE」などのゲームを中心としたサイトを主に利用していることがわかる。しかし、これらのサイトは、プロフやブログ等のコミュニティー機能も多様であり、多機能のSNSが今後の利用の焦点になっていくと思われる。

1-6. 「持っている」と答えた方に伺います。あなたは一日にどのくらいの数のメールを送りますか。

全体	10件未満	10件以上30件未満	30件以上50件未満	50件以上100件未満	100件以上	ほとんど使用しない	無回答
662	249	188	71	51	29	66	8
	37.6%	28.4%	10.7%	7.7%	4.4%	10.0%	1.2%

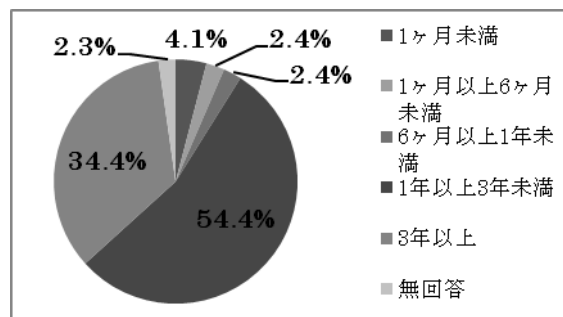
「10件未満」が37.6%、次いで「10件以上30件未満」が28.4%と高い割合であった。これらは、「文科省調査」とほぼ同数値であった。ただし、メール依存症とも思われる100件以上の利用者が4.4%(全国4.7%)もあり、指導が必要である。一方使用しない生徒は10.0%(全国6.9%)であり、生徒の多様さがわかる。



1-7. 「持っている」と答えた方に伺います。 インターネットを利用し始めてどのくらいたちますか。

全体	1ヶ月未満	1ヶ月以上3ヶ月未満	6ヶ月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上	無回答
662	27	16	16	360	228	15
	4.1%	2.4%	2.4%	54.4%	34.4%	2.3%

「1年以上3年未満」が54.4%と高い割合である。
 「中学在学中」に携帯電話を持ち始める割合が高いことから、持ち始めると同時に携帯電話のインターネットを利用するということが推測される。



1-8. 「持っていない」と答えた方に伺います。

あなたが携帯電話を持たない理由は何ですか。(複数選択可)

特に必要がない	保護者が持たせてくれない	トラブルに遭うのが心配	その他	無回答
27	9	2	4	1
65.9%	22.0%	4.9%	9.8%	2.4%

※複数選択のため、合計が100%になっていない。(分母を「持っていない人数」にしている)

—その他—

- ・勉強の妨げになるから
- ・お金がないから
- ・存在やめているだけ
- ・家が貧乏だから

「持っていない」のうち、65.9%が「特に必要がないから」と答えている。

ii. フィルタリングサービス、メール受信拒否設定について

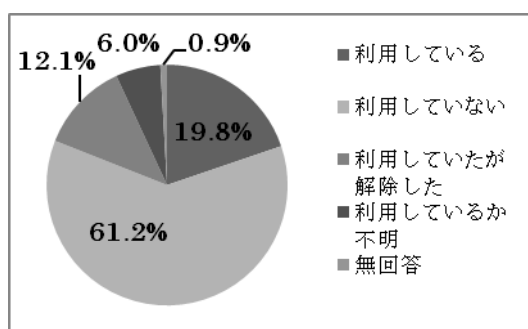
2. 「携帯電話を持っている」と答えた方にフィルタリングサービスとメール受信拒否設定について伺います。

2-1. あなたはフィルタリングサービスを現在利用していますか。

全体	利用している	利用していない	利用していたが解除した	利用しているか不明	無回答
662	131	405	80	40	6
	19.8%	61.2%	12.1%	6.0%	0.9%

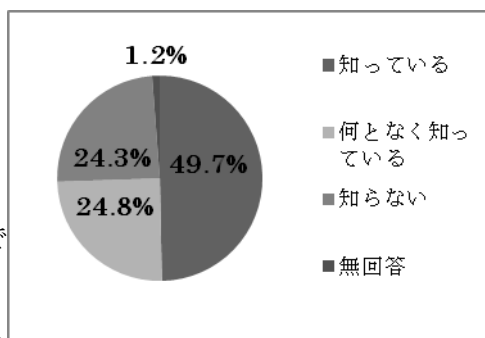
「利用していない」は61.2%、「解除した」が12.1%であることから、73.3%の生徒がノーガードのケータイを使用している。

「青少年インターネット環境整備法」施行後の「高校1年生調査」では、42%の利用状況であったことから、2年生の利用率が極めて低いといえる。



2 - 2. 現在、保護者が不要と申告しない限り 18 歳未満が使用する携帯電話にはフィルタリングサービスを設定しなければならないと法律で定まっています。このことを知っていましたか

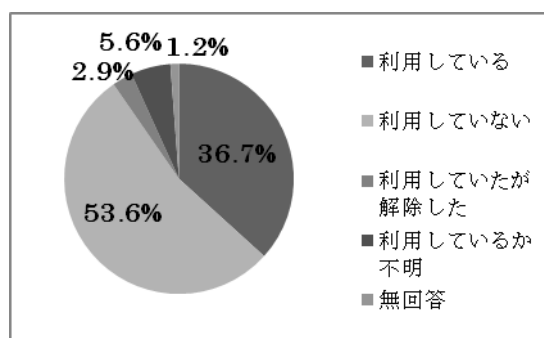
全体	知っている	何となく知っている	知らない	無回答
662	329	164	161	8
	49.7%	24.8%	24.3%	1.2%



「知っている」、「何となく知っている」を合わせると 74.5%であり、フィルタリングサービス設定の義務を知っている割合は 7 割を超えているが、利用している割合が 2 割であることを鑑みれば、法律の意義が生徒と保護者に理解されていないと思われる。

2 - 3. あなたは現在メール受信拒否設定を現在利用していますか。

全体	利用している	利用していない	利用していたが解除した	利用しているか不明	無回答
662	243	355	19	37	8
	36.7%	53.6%	2.9%	5.6%	1.2%



「利用していない」が 53.6%、「解除した」が 2.9%であることから、携帯電話を所持している生徒の半分以上が、メール受信拒否設定を利用していない。しかし、フィルタリングの利用率より 17%も高いことは、被害を体験して学習し自己防衛した結果とも考えられる。大きな被害に遭う前に、この機能の役割を生徒に啓発する必要が求められている。

iii. 携帯電話の利用による不快体験について(携帯所持者 662 人内での割合)

3. 「携帯電話を持っている」と答えた方に、インターネットを利用しての不快・恐怖体験（嫌な思い）について伺います。

(1) 掲示板で以下のような嫌な思い（不快・恐怖体験）をしたことがありますか。（複数選択可）

自分の誹謗中傷	友達の誹謗中傷	自分の学校の誹謗中傷	自分の個人情報	友達の個人情報	有害情報のリンク
60	66	31	11	20	20
9.1%	10.0%	4.7%	1.7%	3.0%	3.0%
自分になりすまし	両親への誹謗中傷	架空請求	人と会い身の危険	その他	
22	0	100	6	9	
3.3%	0.0%	15.1%	0.9%	1.4%	

*複数選択のため、合計が 100%になっていない。(分母を「所持している人数」にしている)

—その他—

・エッチなサイトにとばされる ・使っていない ・選択したところと違うところにリンクされていた ・ネットやるとかならず家のブレーカーが落ちる ・インターネットにつないでいない ・人妻に誘われた
 嫌な思い（不快・恐怖体験）として最も多いのは「架空請求」で 15.1%である。これは、掲示板を利用している生徒の半数に当たり深刻な状況を呈している。また、それぞれへの誹謗中傷は約 1 割で、掲示板、学校裏サイトでのネットいじめ等の実態を証明している。これも、掲示板利用者の 4 割に当たり、掲示板がかつての「暇つぶし」のサイトから、ストレス発散型の利用に転化してきていると思われる。

(2) プロフで以下のような嫌な思い（不快・恐怖体験）をしたことがありますか。（複数選択可）

自分 コメント欄に誹謗中傷	他人 コメント欄に自分の悪口	自分のプロフに連絡先	自分のプロフを勝手に作られた	わいせつな内容のプロフを見た
11	6	5	1	30
1.7%	0.9%	0.8%	0.2%	4.5%
暴力的な内容のプロフを見た	ゲロテスクな内容のプロフを見た	他人プロフ 自分の個人情報	人と会い身の危険	見知らぬ人からコメント
7	9	2	1	25
1.1%	1.4%	0.3%	0.2%	3.8%
架空請求	その他			
7	7			
1.1%	1.1%			

* 複数選択のため、合計が 100%になっていない。（分母を「所持している人数」にしている）

—その他—

・プロフを利用したことがない ・いつも安心 ・インターネットにつないでいない
 プロフでの嫌な思い（不快・恐怖体験）は他のコンテンツより低いですが、その中で多いのは「わいせつな内容のプロフを見た」で 4.5%、プロフ利用者の約 1 割である。

(3) ブログで以下のような嫌な思い（不快・恐怖体験）をしたことがありますか。（複数選択可）

自分のコメント欄に誹謗中傷	自分のコメント欄に友達の誹謗中傷	自分の個人情報	自分の学校の誹謗中傷	両親の誹謗中傷
14	5	3	2	0
2.1%	0.8%	0.5%	0.3%	0.0%
友達の個人情報	有害情報のリンク	自分になりすましてコメント	見知らぬ人からコメント	人と会い身の危険
1	7	0	17	3
0.2%	1.1%	0.0%	2.6%	0.5%
架空請求	その他			
10	19			
1.5%	2.9%			

* 複数選択のため、合計が 100%になっていない。（分母を「所持している人数」にしている）

—その他—

・他人のブログに悪口を書かれた ・ブログを利用したことがない ・いつも安心 ・インターネットにつな

いでいない

ブログでの嫌な思い（不快・恐怖体験）も他コンテンツより低いですが、多いのは「見知らぬ人からのコメント」が2.6%、次に自分のコメント欄への誹謗中傷である。誹謗中傷を受けた生徒はブログ利用者の4.6%となる。

(4) SNS(mixi、モバゲー等)で以下のような嫌な思い（不快・恐怖体験）をしたことがありますか。

自分の誹謗中傷	友達の誹謗中傷	自分の個人情報	学校の誹謗中傷	両親への誹謗中傷
32	23	9	5	1
4.8%	3.5%	1.4%	0.8%	0.2%
友達の個人情報	有害情報のリンク	自分になりすまして書き込み	見知らぬ人からメッセージ	わいせつな内容の小説を見た
6	5	2	47	13
0.9%	0.8%	0.3%	7.1%	2.0%
暴力的な内容の小説を見た	グロテスクな内容の小説を見た	見知らぬ人からコメント	架空請求	
7	24	35	5	
1.1%	3.6%	5.3%	0.8%	
人と会い身の危険	その他			
21	1			
3.2%	0.2%			

*複数選択のため、合計が100%になっていない。(分母を「所持している人数」にしている)

—その他—

- ・しつこく会おうと言われた

SNSの利用者が多いこともあり、このコンテンツでの嫌な思い（不快・恐怖体験）は他と比べて多い方である。最も多いのは「見知らぬ人からメッセージ」で7.1%、「自分への誹謗中傷を受けた」が4.8%もあり、注視したいデータは「人と会い身の危険を感じた」が3.2%もあることである。

3-2. メールで以下のような嫌な思い（不快・恐怖体験）をしたことがありますか。(複数選択可)

自分の名を語ったメール	見知らぬ相手からメール	身に覚えのないサイトから料金請求	出会い系有害情報からメール	自分の誹謗中傷のCメール
25	139	155	264	7
3.8%	21.0%	23.4%	39.9%	1.1%
友人の誹謗中傷Cメール	正確性のないCメール	友人から脅迫的な内容のメール	携帯電話会社を装ったメール	特にいやな思いなし
15	246	9	39	233
2.3%	37.2%	1.4%	5.9%	35.2%
その他				
11				
1.7%				

*複数選択のため、合計が100%になっていない。(分母を「所持している人数」にしている) *Cメール

ルはチェーンメールの略称として使用した。 *メールは携帯電話所持者の9割(598人)が利用している。

—その他—

・誰かが自分の名を語ったメールを友人にして、傷つけ、連絡が取れなくなった ・友達の名前で知らない人からメールが来た ・レッドローズからメールがきた ・mixiのふりしたmixyからメールがきた ・友達からアド変メールがよくくる ・バトンメールなどでの呪い画や脅迫的な内容のメールを受け取った ・友人になりすましたメールを受け取った ・送られてきたメールが規則性がなく、パソコン受信拒否をしても携帯会社だから拒否できず、そのメールが送った人のアドレス表を見ても自分のアドレスが載っていない

メールでの嫌な思い(不快・恐怖体験)は、利用者が9割と多いため、その数値は五つの機能の中で最も多く、ケータイ所持者の65%の生徒が嫌な思いをさせられていることが判明した。最も多かったものは「出会い系サイトなどの有害情報サイトからのメールが届いた」(39.9%)で、次に「正確性のないチェーンメール」(37.2%)、「身に覚えのないサイトからの料金請求」(23.4%)であった。

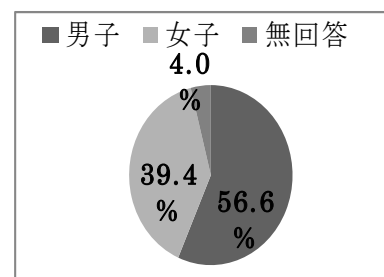
II. パトロール隊の活動に対する意見等

・がんばれ ・モバゲ-内でもっと監視をしてほしい ・どーでもいい ・迷惑サイトなどをつぶしてほしい ・ネット・ケータイとは、いわば全世界中に存在するメタファーなのです ・誹謗中傷の書き込みをつけたら消した方がいいと思う ・中傷やいじめをなくするためにも、監視活動にもっと力を入れたいと思う ・いじめというのは生涯なくなるということがないと思うから出来るだけいじめを少なくすることが大切だと思う。そのためには「ネットパトロール隊」の存在は大事だと思います ・誹謗中傷はなくなるとは思うけど減ることを願ってます ・パトロール活動がんばってください☆ ・モバゲ-でそのグループでしかわからないあだ名をつけて誹謗中傷を書いている人が自分の高校にいます。誰か特定はできません。見ててムカつくので、コメントをしていないですが、早急にパトロールを行った方がいいです。 ・このプロジェクトは少しでも裏サイトをなくそうとすることなどが目的であると思いますが、少なくとも今のままでは増えていくと思います。なので、もっと多方向からのアプローチを試みる必要になってくると思います。“全くなくなる”ことはないとは思いますが、ならば少しでも効率的に探せるように、何か出来る範囲でしていった方がいいと思っています。 ・弘大最高。 ・もっと厳しく監視活動をしてください ・私は学校裏サイトを知らないのですが、自分のことが書かれていたら怖いと思いますね ・フィルタリングなくしてほしい ・サイトを消しましょう ・監視活動をするのは、とてもいいことだと思います。これからも頑張ってください。中傷がもっと減るといいと思います ・これからもこの活動を続けてほしいです。 ・ポルノ法はやめてほしい ・ダウンロードきんし法を止めてください ・どこでも誰でもかかれてやれる。なくなる。見つからない。 ・いじめを受けている人が救われるから頑張ってください ・自称パトロール隊乙 ・監視しているだけでは意味がない ・学校裏サイトには悪口などが多数あるので消して下さい。 ・裏サイトだけでは普通に足りないと思う。規模は大きくなるけど、プロフとかモバとか書き込まれることはあたりまえにあるし、書かれたこともある。 ・効果がないと思う。対して意味がないと思う ・裏サイト自体なくしてしまえばいい ・フィルタリングをつかうとSNSを使うことができないのでどうかしてほしい ・マナーモードにすることはたいせつです *アンケートに書かれてあった原文そのものを掲載。

4. 男女別データ分析

回答数

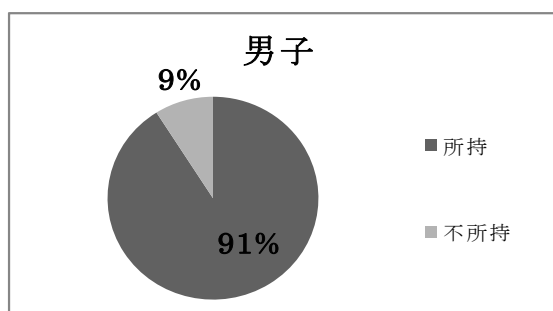
全体	男子	女子	無回答
703	398	277	28
	56.6%	39.4%	4.0%



1. 携帯電話の所持の男女比

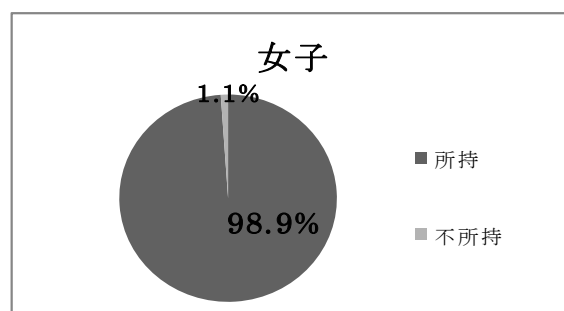
(男子)

全体	持っている	持っていない
398	362	36
	91.0%	9.0%



(女子)

全体	持っている	持っていない
277	274	3
	98.9%	1.1%



携帯電話の所持は女子が男子に比べて 7.9%高い。

2. 利用コンテンツの男女比 (複数選択可)

(男子)

プロフィールサイト	ホームペ	ブログ	掲示板	SNS(モバゲー、mixi 等)	無回答
92	187	116	101	268	37
25.4%	51.7%	32.0%	12.6%	74.0%	10.2%

(女子)

プロフィールサイト	ホームペ	ブログ	掲示板	SNS(モバゲー、mixi 等)	無回答
161	245	199	89	211	9
58.8%	89.4%	72.6%	9.7%	77.0%	3.3%

※複数選択のため、合計が 100%になっていない。(分母を「持っている人数」にしている)

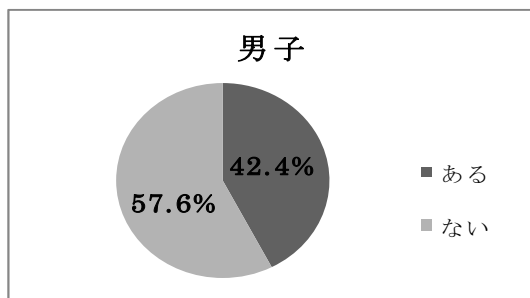
インターネットの利用コンテンツでは、男女ともに SNS の利用が 7 割を超えている。

女子のプロフィールサイト、ホームペ、ブログの利用率が男子に比べて高い。

2-i.プロフィールサイト作成経験の男女比

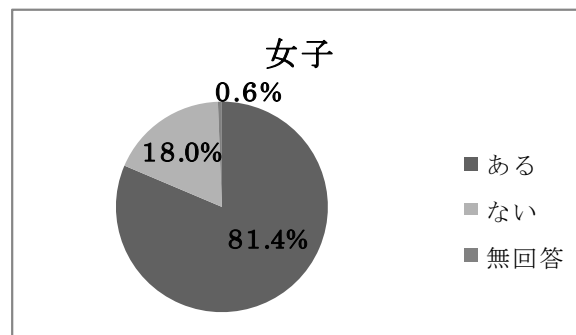
(男子)

全体	ある	ない
92	39	53
	42.4%	57.6%



(女子)

全体	ある	ない	無回答
161	131	29	1
	81.4%	18.0%	0.6%

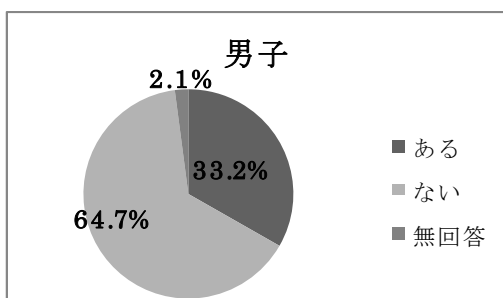


プロフィールサイトの作成経験は女子の方が男子に比べて39%高い。

2-ii. ホームページ作成経験の男女比

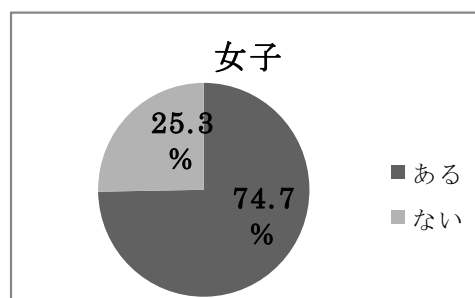
(男子)

全体	ある	ない	無回答
187	62	121	4
	33.2%	64.7%	2.1%



(女子)

全体	ある	ない
245	183	62
	74.7%	25.3%

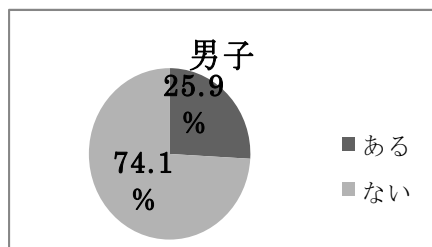


ホームページの作成経験は、女子の方が男子に比べて41.5%高い。

2-iii. ブログ作成経験の男女比

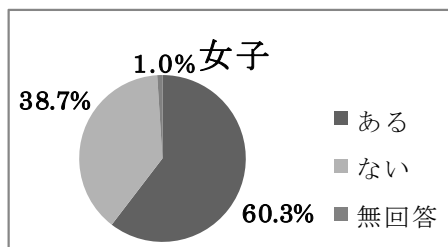
(男子)

全体	ある	ない
116	30	86
	25.9%	74.1%



(女子)

全体	ある	ない	無回答
199	120	77	2
	60.3%	38.7%	1.0%

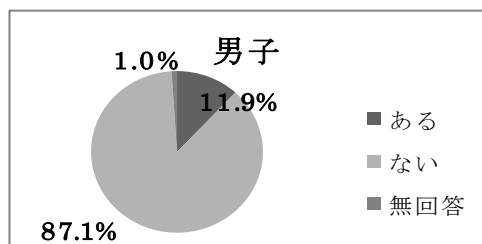


ブログの作成経験は、女子の方が男子に比べて 34.4%高い。

2-iv. 掲示板の管理人経験の男女比

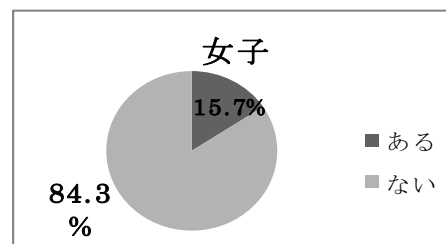
(男子)

全体	ある	ない	無回答
101	12	88	1
	11.9%	87.1%	1.0%



(女子)

全体	ある	ない
89	14	75
	15.7%	84.3%



掲示板の管理人の経験は、女子の方が男子に比べて 3.5%高い。

2-v. 利用したことのある SNS サイトの男女比 (複数選択可)

(男子)

mixi	モバゲー	GREE	en 高校生	大集合 NEO	その他	無回答
35	256	156	2	77	7	3
13.1%	95.5%	58.2%	0.7%	28.7%	2.6%	1.1%

(女子)

mixi	モバゲー	GREE	en 高校生	大集合 NEO	その他	無回答
59	189	130	2	57	8	1
28.0%	89.6%	61.6%	0.9%	27.0%	3.8%	0.5%

※複数選択のため、合計が 100%になっていない。(分母を「SNS を利用した人数」にしている)

男女共にモバゲー、GREE の利用率が高い。女子の方が男子に比べて mixi の利用率が 14.9%高い。

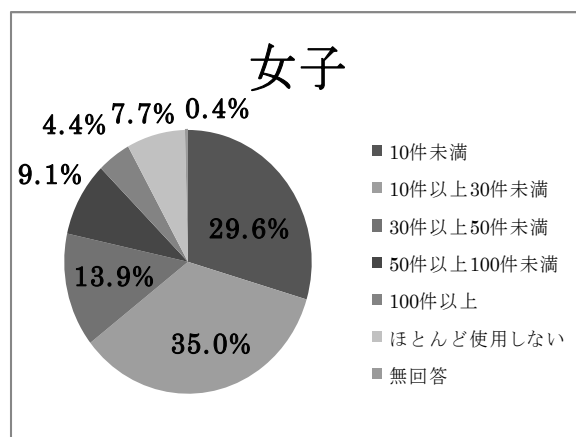
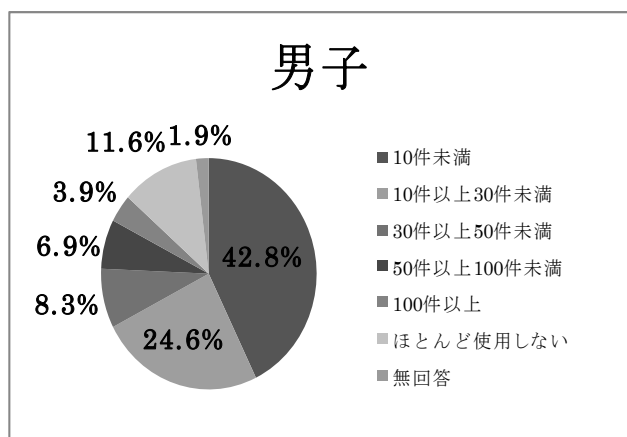
3. 一日のメール送信数の男女比

(男子)

全体	10件未満	10件以上30件未満	30件以上50件未満	50件以上100件未満	100件以上	ほとんど使用しない	無回答
	155	89	30	25	14	42	7
362	42.8%	24.6%	8.3%	6.9%	3.9%	11.6%	1.9%

(女子)

全体	10件未満	10件以上30件未満	30件以上50件未満	50件以上100件未満	100件以上	ほとんど使用しない	無回答
	81	96	38	25	12	21	1
274	29.6%	35.0%	13.9%	9.1%	4.4%	7.7%	0.4%



一日のメール送信数は、男子の42.8%が10件未満なのに対し、女子の35%は10件以上30件未満である。